

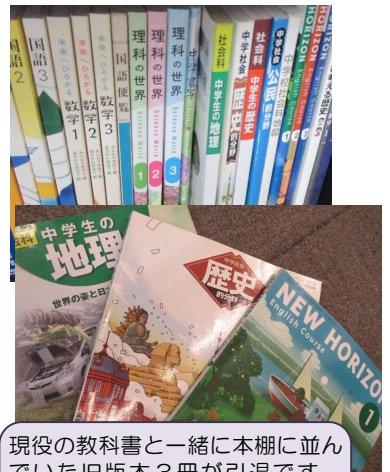
やる気発生装置

お世話になった教科書たちをめぐって

3月の終わり、いろいろなお別れがある季節です。昨日のテーマは学校の先生、「人」とのお別れでしたが、日々お世話になっている「教科書」も変わっていきます。今年度は基本的に教科書の改訂はないので、新たに買い揃えることは特にありませんし、高2を除けば、新学年で使う教科書は基本、1こ上の先輩が使っていたものと同じになります。ただ、卒業した中3生たちが1年のとき使っていた地理・歴史・英語の教科書は旧版でした。受験勉強をする中3生たちが歴史など調べ物をするとき、みんな後輩が使っている新版の教科書ではなく、やはり自分が使っていたものを見ようとするんですね。そんなわけで、2016年版と2021年版の2種類を本棚に置いていたのですが、もう旧版を使う人はいなくなるので第一線を退いてもらうことにしました。足掛け7年にわたってみんなの勉強を支えてもらい、お世話になった教科書たちです。感謝をこめて本棚から抜き取りました。

教科書については、やや残念な形でお別れになりそうな話もあります。京都市ではもう何十年も、小学校・中学校の理科の教科書は「大日本図書」という会社のものがずっと使われていて、僕自身もそれで理科を勉強しました。学校で採用してもらおうと、教育委員会の偉い人に不適切な接待をしていたらしくて、それが問題になって新しい理科の教科書の発行が認められなくなりそうだというのです。なにせ中学時代も、塾の先生になってからも、ずっとこの教科書だけ見てきましたから他と比較しようがないのですが、しっかり作られた教科書だと思います。慣れ親しんできた教科書が、そんな情けない理由で別のものになるのはなんとも切ないですし、学校の先生方にはこれまで授業してきた積み重ねがあるので、年によってコロコロと教科書が変わるのはやはり望ましくありません。ただ、今使っている教科書がすぐに変わるわけではないので、少なくとも新中2・中3の皆さんには直接の影響はないでしょう。なんか、あまりやる気が発生しない話になってすみませんが、物事はやはりフェアに進めないと残念なことになるんだなという感想です。

人に続いて、本とお別れを語りました。特に教科書というのは、使い込んでいくと愛着がでるものです。ここは安易にデジタル化して画面上だけのものになったりしないでほしいなあと思っております。



現役の教科書と一緒に本棚に並んでいた旧版本3冊が引退です。2016年から旧中3生の卒業までお世話になりました。ありがとう！



予報によれば、京都はしばらく好天が続くらしくて、満開を迎えつつある桜にとっては朗報です。4月までは、ぜひとも咲き続けてほしいですね。

当面の教室予定

3/28(火)~4/1(土)

16:00~22:00

4/2(日)

16:00~21:00

4/3(月)~4/7(金)

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。